

令和3年度 第6回学校運営協議会議事録

八王子市立別所中学校
別所中学校応接室
10:00～11:00

出席者：米倉、校長、円城寺、杉山、生川、金田、安樂、市原
欠席者：三浦、博田、川上

1 開会

市原：時間になりました。皆さん、おはようございます。これから第6回学校運営協議会を始めます。よろしくお願いします。

2 内容

(1) 会長挨拶

ご参加ありがとうございます。今日は議題が絞られていますので、議論が深められるかと思います。よろしくお願いします。

(2) 校長挨拶

今日は土曜日ですが、ご参加ありがとうございます。今日は3年生の来年度から都立入試に使うスピーキングテストの試行を行っています。次回の道徳授業地区公開講座も土曜日です。来年度からは土曜授業日が増えることになっています。

米倉：来年からのこのテストの扱いはどうなりますか。

校長：20点で入試に入ります。

(3) 学校評価アンケートについて（市原）

まず、保護者アンケートです。昨年度よりも学校からの家庭への周知はしっかりできていますが、「あまりあてはまらない」の回答数が5～10%あり、「無回答」と「わからない」の回答数も同程度あります。土曜授業参観、行事、地域との取組等が実現しつつあるので、後期はここに注目したい。

生徒アンケートは「あてはまる」、「ややあてはまる」の回答数が約75%で、保護者同様「無回答」と「わからない」の回答数を減らすよう努めれば、学校の取組に90%以上の理解が得られる。今後行事が復活できるので、後期に期待したい。

(4) 教員との面談の結果について（杉山）

杉山：負担の1番は授業の準備、部活、次は提出物の処理です。校務の平等も原因の一つでした。全員が長時間労働しているわけではなく、一部の教員、真面目で信頼される先生に仕事が集中しています。管理職が仕事量を振り分けることが必要です。教員数を増やす、スクール・サポート・スタッフを増やす、織機などの機械の購入、留守番電話の導入などできることから始めるといい。当初の予想とは反していました。

円城寺：できる人に任せていては若い人が育たない。留守番電話もいいのでは。仕事の平均化も重要だと思います。研修の扱いはどうなるのですか。

校長：法定研修は必須です。免許更新制度はどうなるかはまだ確定していません。

安樂：前向きでプロ意識が高く、時間がかかってしまうことは理解できる。

米倉：世の中で騒がれているような問題はないのかと感じてしまいました。

杉山：労働時間に差があるのは事実。

校長：どちらかと言うと独身の在校率が高いです。

杉山：子どもと接する時間を確保した上で仕事をしているので帰宅が遅くなってしまうのではないのでしょうか。

校長：業務の公平については、意識しています。人に振るよりも自分でやった方が早いのでやっつけてしまっている部分もあります。体制が確立できるまでお願いしているものもあります。

杉山：管理職が均等に仕事を振り分ける必要があります。始めのイメージとは違いました。

円城寺：全員に面接しないと現状がわかりません。

(米倉) 去年よりも問題点がはっきりしてきましたと思います。

(5) 学習支援、授業支援の活動報告 (生川)

生川：昨日メールで送った資料がすべてです。課題は個別指導ですので、講師の手配です。予算が厳しいです。教師の授業支援 (ALT と英検面接) を企画しています。

(6) 質疑応答及び情報交換

校長：学運協の意見具申について何かありましたらお知らせください。

3 次回の日程確認

校長：次回の日程は令和3年11月5日 (金) 17:30～18:30です。修学旅行プレゼンが16時15分から開始になりますので、その後のスタートです。

4 閉会

市原：第6回学校運営協議会を終わります。ありがとうございました。